

‘O Sole Mio(直訳「私の太陽」)

〔曲目説明〕(Wikipedia より引用)

『オー・ソレ・ミオ』(ナポリ語:‘O sole mio、私の太陽)は、イタリアのカンツォーネ(ナポリ民謡)。1898年、ギアヴァニ・カプロ作詞、エドゥアルド・ディ・カプア作曲。世界中で翻訳され、様々な言語でも歌われるが、通常は原詩で歌われる。原詩のナポリ語は、イタリア語とは多少異なる。例えば、曲名の『‘O sole mio』は、イタリア語で『Il sole mio』になる(‘O)(オー)は感動詞ではなく冠詞。曲名の和訳は、「おお、私の太陽」は間違いで、「私の太陽」が正しい)。

〔歌詞〕(ナポリ語)

〔訳〕(Wikipedia より)

Che bella cosa e' na jurnata 'e sole,

晴れた日は何て素晴らしい、

(何て素晴らしいこと) (晴れた日)

n'aria serena doppo na tempesta!

嵐のあとの澄んだ空

(澄んだ空) (あと) (嵐)

Pe' ll'aria fresca pare già na festa

まるで祭日のようなさわやかな空

(さわやかな空) (..のようだ) (まるで祭日)

Che bella cosa e' na jurnata 'e sole

晴れた日は何て素晴らしい

Ma n'atu sole,

ただどもう一方の太陽

(しかし) (もう一つの) (太陽)

cchiù bello, ohi ne'

なお一層輝かしい

'O sole mio

私の太陽

sta 'nfronte a te!

きみの顔に輝く!

(ある) (あなたの顔に)

'O sole, 'o sole mio

太陽、私の太陽

sta 'nfronte a te!

きみの顔に輝く!

sta 'nfronte a te!

きみの顔に輝く!

〔訳詩：川路 柳虹〕

麗しの陽はさしきぬ  
嵐やみて青き空に  
爽やけく そよ風吹き  
光り豊かにさしきぬ

いとしの陽 なつかし恵みの陽  
その影 ああ陽の影よ  
なつかし 永久の陽